

6月講義レポート

中盤の手筋

将棋が強くなるためには、「手筋」を覚えることがとても役立ちます。
手筋とは、よくある形の中で有利になりやすい指し方のことです。
対局を少しでも優勢に進めるための、コツやテクニックといえます。

6月の講義では、「中盤の手筋」をテーマに取り上げました。
居飛車と振り飛車それぞれの視点から、実戦で出てきやすい局面をもとに、手筋をわかりやすく紹介しました。

6月のカリキュラム

	水曜クラス		金曜クラス	
	振り飛車担当 藤倉勇樹 六段	居飛車担当 村田顕弘 六段	振り飛車担当 飯塚祐紀 八段	居飛車担当 星野良生 五段
6月1週目	対抗系の仕掛けから中盤の手筋①	矢倉戦の急所を覚えよう	飛車をさばく	銀ばさみ
6月2週目	対抗系の仕掛けから中盤の手筋②	相手玉の近くから仕掛けよう	角を活かした攻め	飛車の活用
6月3週目	相振り飛車の手筋①	振り飛車に急戦で仕掛けよう	棒銀対策 戦いの起こった筋に飛車を動かす	右桂馬の活用
6月4週目	相振り飛車の手筋②	角交換振り飛車にはどこから仕掛けるか	桂香を使った攻め	両取りをかけよう